玉島中央病院
勤務医負担軽減計画

令和3年10月作成

	現状・問題点	対応方針	具体的な計画	達成状況		
				令和4年9月	令和5年9月	令和6年9月
1	医師事務作業補助者の更なる活用	・医局に医師事務作業補助者を配置し、診断書作成の補助、検査結果の整理、診療記録の代行入力等を実施する（継続）	・医師事務作業者の人数を更に増加する ・院内がん登録等の統計・調査の業務を移譲すえる ・検査の手順等の患者への説明業務を移譲する			
2	診療記録、診断書の作成、処方箋等の文書の記載で医師が多忙になっている	電子カルテによる医師業務効率化の推進	・電子カルテの運用の見直しを、IT推進委員会にて実施 ・電子カルテのベンダー変更し、効率アップを実施 ・特定の診療科への支援を病院全体で検討する			
3	病棟配置薬剤師を活用を継続する	薬剤師による病棟業務を見直し、医師の支援を充実させる	・薬剤師の人数を維持し、病棟の服薬指導を薬剤師にて実施する（継続）			
4	医局会の定期的な開催を継続する	勤務医からの業務負担に関する要望を吸い上げる	・医局会を月に1回の定時開催とする（継続）			
5	医師の有給休暇の取得率を維持する	・医局内に文書で有給休暇の取得について広報を継続する ・医師の勤務体制の継続	・他病院職員と同等の取得率となるよう目標値を設置衛生委員会での数値管理を徹底する（継続） ・勤務計画上、連続当直は行わない（継続） ・予定手術前日の当直や夜勤は行わない（継続）			
6	外来での医師の業務が煩雑になっている	・外来での各種のコメディカル業務を見直す ・初診時の予診の効率化を推進する ・外来診療の再編（スリム化を含めて）を検討する	・医師以外でも可能な業務をコメディカルに委譲する ・看護補助者の活用を検討する ・AI問診システムの導入を検討する ・非常勤医師からの支援、及び外来支援スタッフの効率化を検討する			
7	医師の病棟業務が煩雑になっている	・病棟での各種のコメディカル業務を見直す ・クリティカルパスの利用の促進	・看護補助者を増員し、看護師に医師業務を移譲する ・クリティカルパス委員会の活性化			
8	医師の勤務時間の管理の見直しが必要	勤務時間の客観的な把握を検討する	・タイムカードの活用の見直しをする 勤務時間のインターバル管理の実施 ・医局長による医師の勤務時間管理を実施する ・「働き方改革委員会」で医師との協議を実施する 当直翌日の業務内容を検討 ・人事担当者は過度の時間外勤務を確認した場合、衛生委員会へ報告する（継続）			